

# 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会（2泊3日型）

## プログラム（例）1日目

	緩和ケア研修会のプログラムを体験する時間
	指導者のスキルについてくわしく学ぶ時間

時間	分	モデル	項目	詳細	会場
8:45-9:10	25		受付		
9:10-9:55	45	T-1	Opening Remark / 指導者研修会とは	PEACEプロジェクトの概要、指導者研修会について学びます	主会場
9:55-10:00	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
10:00-10:15	15		●プレテスト	現時点における自身の知識を確認し、緩和ケア研修会での目標を認識します	主会場
10:15-10:20	5		休憩		
10:20-10:40	20	T-2a	教育技法（1） 効果的な学習とは	成人学習理論と医師が好む学習スタイルについて学びます	主会場
10:40-10:45	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
10:45-11:45	60	M-1 M-2	●緩和ケア研修会の開催にあたって ●緩和ケア概論	PEACEプロジェクトの概要、緩和ケアの概念・理念の要点について学ぶセッション	主会場
11:45-11:50	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
11:50-12:40	50		昼食		
12:40-14:10	90	M-3	●がん疼痛の評価と治療	がん疼痛の機序、評価、WHOがん疼痛治療法、専門的疼痛緩和などについて学ぶセッション	主会場
14:10-14:30	20	T-2b	教育技法（2） 双方向性講義のスキル	ファシリテーターとしての心構え、双方向性講義のスキルについて学びます	主会場
14:30-14:35	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
14:35-14:55	20		休憩		
14:55-16:25	90	M-5	●オピオイドを開始するとき	医療用麻薬を処方するときの患者への説明についての演習（ロールプレイ）を行うセッション	主会場
16:25-16:40	15	T-2d	教育技法（4） ロールプレイのスキル	ロールプレイをファシリテートするスキルについて学びます	主会場
16:40-16:45	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
16:45-17:00	15		休憩		
17:00-18:20	80	M-9	●地域連携と治療・療養の場の選択	地域連携と治療・療養の場の選択に関する問題点を挙げ、グループで解決策を模索するセッション	主会場
18:20-18:25	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
18:25-19:25	60		夕食		
19:25-20:10	45	M-6a	●呼吸困難	呼吸困難に対する緩和ケアについて、双方向性講義を通して学ぶセッション	主会場
20:10-20:15	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
20:15-20:45	30	F-1	研修会スタッフとして	「緩和ケア研修会」企画・運営にあたっての不安や気掛かりについて話し合います	主会場
20:45-20:55	10		1日のまとめとふりかえり	1日のまとめとふりかえりを行います	
20:55-21:00	5		移動		

## 研修プログラム（例）2日目

	緩和ケア研修会のプログラムを体験する時間
	指導者のスキルについてくわしく学ぶ時間

時間	分	モジュール	項目	詳細	会場
8:00-8:10	10		オリエンテーション		
8:10-8:25	15			がん疼痛事例の提示	主会場
8:25-10:10	105	M-4 M-1b	●がん疼痛事例検討 ●アイス・ブレイキング	アイス・ブレイキングを行った後、がん疼痛事例についてグループで検討します	分科会場 (1~8)
10:10-10:15	5			休憩	
10:15-10:35	20	T-2c	教育技法 (3) 小グループ学習のスキル	小グループ学習をファシリテートするスキルについて学びます	主会場
10:35-10:55	20	T-3b	教育の実践 (2) グループ分けの方法	緩和ケア研修会におけるグループ分けの方法論を学びます	
10:55-11:00	5	T-2e	教育技法 (5) アイス・ブレイキングのスキル	アイス・ブレイキングのスキルについて学びます	
11:00-11:05	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
11:05-11:15	10			休憩	
11:15-12:00	45	M-6b	●消化器症状(嘔気・嘔吐)	嘔気嘔吐に対する緩和ケアについて、双方向性講義を通して学びます	主会場
12:00-12:05	5		質疑応答	教育技法や運営についての質疑応答	
12:05-13:00	55			昼食	
13:00-13:40	40	T-3a	教育の実践 (1) 双方向性講義の実践	マイクロティーチング (双方向性講義トレーニング) についての説明を受け、担当セッションを決定します	主会場
13:40-14:20	40		セッション準備	担当セッションのスライドを読み込み、獲得したいスキルを選ぶなどの準備を行います	分科会場 (A~P)
14:20-14:45	25		双方向性講義 トレーニング 1	マイクロティーチング (双方向性講義のスキルを学びます)	
14:45-14:55	10			休憩	
14:55-15:20	25		双方向性講義 トレーニング 2	マイクロティーチング (双方向性講義のスキルを学びます)	
15:20-15:30	10			休憩	
15:30-15:55	25		双方向性講義 トレーニング 3	マイクロティーチング (双方向性講義のスキルを学びます)	
15:55-16:05	10			休憩	
16:05-16:30	25		双方向性講義 トレーニング 4	マイクロティーチング (双方向性講義のスキルを学びます)	
16:30-16:40	10			休憩	
16:40-17:05	25		双方向性講義 トレーニング 5	マイクロティーチング (双方向性講義のスキルを学びます)	
17:05-17:15	10			休憩	
17:15-17:40	25		双方向性講義 トレーニング 6	マイクロティーチング (双方向性講義のスキルを学びます)	
17:40-17:50	10			休憩	
17:50-18:15	25		双方向性講義 トレーニング 7	マイクロティーチング (双方向性講義のスキルを学びます)	
18:15-18:25	10			休憩	
18:25-18:50	25		双方向性講義 トレーニング 8	マイクロティーチング (双方向性講義のスキルを学びます)	
18:50-19:50	60			夕食	
19:50-20:50	60		セッション準備	明日のプレゼンテーションに向けてスライドを読み込み、研修室を設営します	分科会場 (A~P)
20:50-21:00	10		1日のまとめとふりかえり		主会場
21:00				懇親会	

## 研修プログラム（例）3日目

	緩和ケア研修会のプログラムを体験する時間
	指導者のスキルについてくわしく学ぶ時間

### パターン1：

時間	分	項目	詳細	会場
8:00-8:10	10	オリエンテーション		主会場
8:10-8:15	5	移動		
8:15-10:15	120	●コミュニケーション	悪い知らせの伝え方について、演習（ロールプレイ）を通して学びます （精神腫瘍学受講生によるワークショップを受講する）	分科会場 （1～4）
10:15-10:30	15	休憩・移動		
10:30-11:30	60	●精神症状	気持ちのつらさおよびせん妄について学びます （精神腫瘍学ファシリテーターによる講義を受講する）	主会場
11:30-12:15	45	昼食		
12:15-13:00	45	教育の実践 <緩和ケア概論>	・緩和ケア受講生が精神腫瘍学受講生に講義を行います ・精神腫瘍学受講生からフィードバックをもらいます	分科会場 （A～H）
13:00-13:10	10	ふりかえり	指導法に関する質疑応答、ふりかえりを行います	
13:10-13:15	5	休憩		
13:15-14:45	90	教育の実践 <がん疼痛の評価と治療>	・緩和ケア受講生が精神腫瘍学受講生に講義を行います ・精神腫瘍学受講生からフィードバックをもらいます	分科会場 （A～H）
14:45-14:55	10	ふりかえり	指導法に関する質疑応答、ふりかえりを行います	
14:55-15:00	5	休憩		
15:00-15:45	45	教育の実践 <呼吸困難>	・緩和ケア受講生が精神腫瘍学受講生に講義を行います ・精神腫瘍学受講生からフィードバックをもらいます	分科会場 （A～H）
15:45-15:55	10	ふりかえり	指導法に関する質疑応答、ふりかえりを行います	
15:55-16:00	5	休憩・移動		
16:00-16:30	30	アンケート記入、修了証書授与		主会場

### パターン2：

時間	分	項目	詳細	項目
8:00-8:10	10	オリエンテーション	当日のオリエンテーションと、指導法に関する質疑応答	主会場
8:10-8:15	5	移動		
8:15-9:00	45	教育の実践 <緩和ケア概論>	・緩和ケア受講生が精神腫瘍学受講生に講義を行います ・精神腫瘍学受講生からフィードバックをもらいます	分科会場 （I～P）
9:00-9:10	10	ふりかえり	指導法に関する質疑応答、ふりかえりを行います	
9:10-9:15	5	休憩・移動		
9:15-10:45	90	教育の実践 <がん疼痛の評価と治療>	・緩和ケア受講生が精神腫瘍学受講生に講義を行います ・精神腫瘍学受講生からフィードバックをもらいます	分科会場 （I～P）
10:45-10:55	10	ふりかえり	指導法に関する質疑応答、ふりかえりを行います	
10:55-11:00	5	休憩		
11:00-11:45	45	教育の実践 <呼吸困難>	・緩和ケア受講生が精神腫瘍学受講生に講義を行います ・精神腫瘍学受講生からフィードバックをもらいます	分科会場 （I～P）
11:45-11:55	10	ふりかえり	指導法に関する質疑応答、ふりかえりを行います	
11:55-12:40	45	昼食		
12:40-14:40	120	●コミュニケーション	悪い知らせの伝え方について、演習（ロールプレイ）を通して学びます （精神腫瘍学受講生によるワークショップを受講する）	分科会場 （5～8）
14:40-14:55	15	休憩・移動		
14:55-15:55	60	●精神症状	気持ちのつらさおよびせん妄について学びます （精神腫瘍学ファシリテーターによる講義を受講する）	主会場
15:55-16:00	5	休憩・移動		
16:00-16:30	30	アンケート記入、修了証書授与		主会場